

絹の道職場長会議連絡表

令和7年10月1日(水)

部署名	支援課	記入者	林 奈美
項目	内容		
報告	【入居者状況】		
報告	高橋 寛一郎様	食事量にはムラが見られるが少しづつ摂取量は増えている。本人の無理の無い程度に介助行っています。水分も飲める時に摂取していただく。以前よりは表情も良くなってきて発語も良く聞かれている。	
	吉野 喜久子様	夜間に嘔吐あり。嘔吐者対応となるが朝方には発熱38.5℃まで上がっている。グッタリとされており、声掛けにも反応薄い。誤嚥性肺炎の疑いにて経口中止、DIV開始となる。数日経過されても意識ハッキリとせず開眼はされるものの目で追う仕草も見られない。いつも健側の手で身体を掻いていたが手を動かす様子も見られず、いつも通りやすらぎ食を提供するが経口摂取困難。香りだけ楽しんでいただいています。9/25付けで看取り対応となる。9/27モニター装着。	
	細貝 君子様	夕食時に表情がいつもと違って顔も上を向いている。身体に触れると体熱感あり。KT38.4食事は中止し、すぐに臥床していただき有熱者対応となる。夜間には解熱され表情もいつも通りになっている。翌日には無理の無い程度に食事開始している。2日後、再度具合悪そうな表情をされ首が後方にのけぞっている。検温行いKT38.2有熱者対応となるが夜間には解熱されている。その後はお変わりなく過ごされています。	
	天野 勇三様	夜間、バルーンの接続部からウロバック側のルートを自身のハサミで切断してしまう。オンコール行い、当番看護師に接続部から交換していただく。ハサミと爪切りは職員が預かっています。ご家族にその旨を電話連絡し、今後はほかの方同様に施設のハサミと爪切りを使用していただき本人の物は来園時に持ち帰っていただく事とする。	
	星野 武様	おやつ時、補食を少し詰まらせてしまう。吸引施行し、食べたものが多量に引けている。その日の夜にKT38.4発熱あり。朝には解熱されている。痰が多かった為、定時吸引行う。居配対応にて無理しない程度に食事を召し上がっていただいています。その後、痰も少なり通常対応に戻っていますが食事時は注意して見守る。	
	渡邊 明功様	最近、表情がすぐれず食事中でも傾眠してしまう事が増えている。今までは食事なんとか自力摂取されていましたが最近では手が口まで上がらず自力摂取困難。9/26夕食時、体熱感ありKT38.1有熱者対応となる。2日後には通常対応に戻るも左下肢の痛みが強く聞かれています。外傷等はなく様子観察行うが離床介助は2人介助にて安全に行う。やはり離床して食事を摂っていただくが表情すぐれず自力摂取困難な状況が続いている。要様子観察行う。	

